

2023年3月期  
第3四半期決算説明資料  
CYBERDYNE株式会社  
2023年2月14日

# 連結業績 - 前期比較 (IFRSベース)

**売上収益** : 2,374百万円 (前期比 76%増加)  
**営業利益** : △749百万円 (前期比 △93百万円)  
**当期利益** : 68百万円 (前期比 659百万円改善)

(単位 : 百万円)

	FY2021 Q1-Q3	FY2022 Q1-Q3	増減額	増減率
売上収益 (売上総利益)	1,347 (984)	2,374 (1,482)	+1,027※1 (+497)	+76.3%※1 (+50.5%)
営業利益	-656	-749	-93 ※2	—
税引前利益	-554	112 ※3※4	+666	—
当期利益 (親会社帰属)	-590	68	+659	—

※1 売上増加 (1,027M) の内訳 (対前期比)

レンタル等 +190M (海外向けHALレンタル増加)  
 製品販売 +54M (研究機器等の販売増加)  
 サービス +782M (米国RISEグループの治療サービス)

※2 販管費増加(631M)の主な内訳 (対前期比)

M&Aによる連結子会社の販管費 +694M

※3 為替差益 55M (金融収益に計上)

※4 投資有価証券関連益 851M (純額)

金融収益(評価益) +588M  
 CEJファンド損益 +263M

参考) 前期の投資有価証券関連益 86M (純額)

# 連結業績 - 四半期推移

**【Q3売上実績】 Q2比で5%増加、前期3Q比で59%増加**

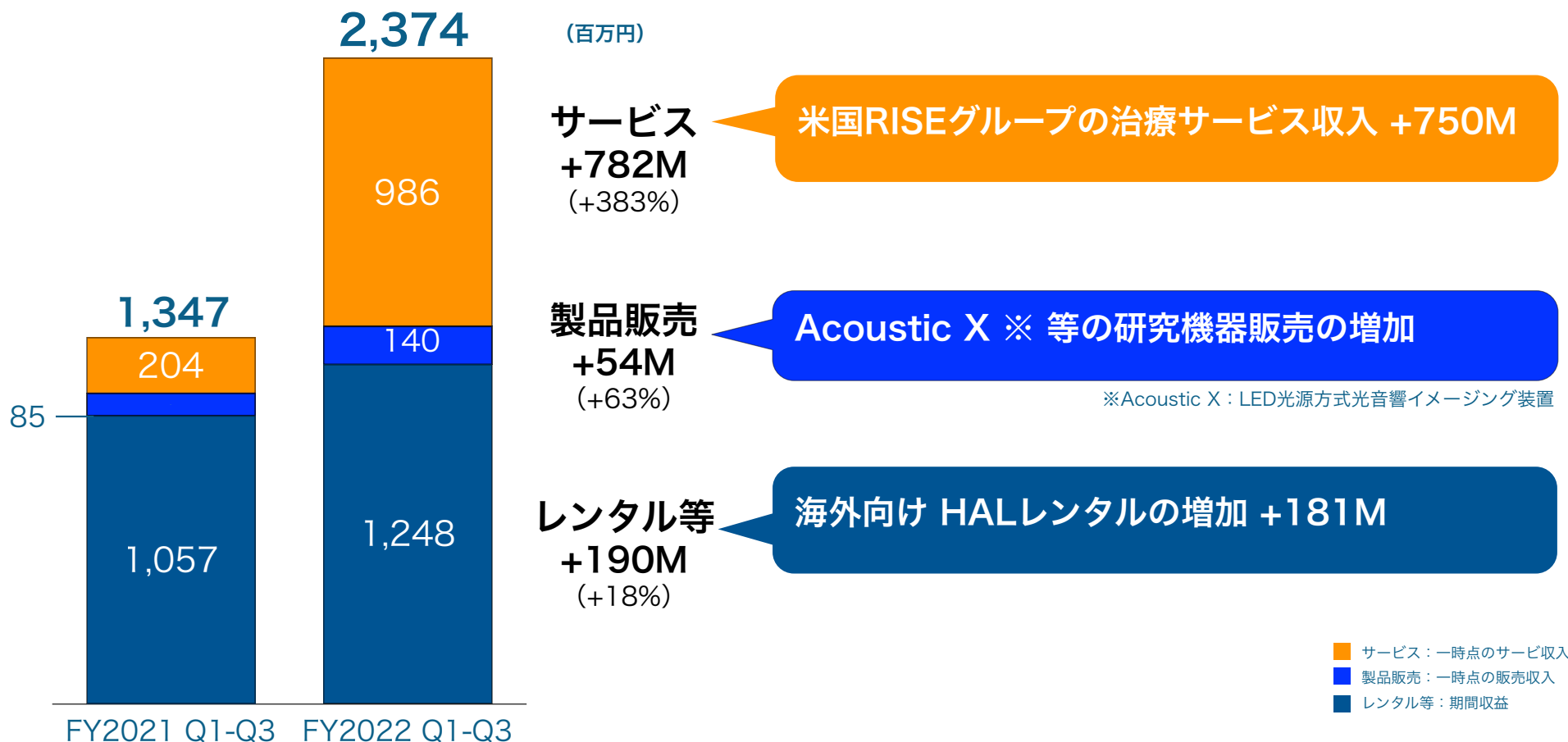
(単位：百万円)

連結損益計算書	FY2021	FY2022				累計	前四半期比較(QoQ)		前年同四半期比較(YoY)	
	Q3	Q1	Q2	Q3	増減額		増減率	増減額	増減率	
売上収益	521	751	791	831	2,374	+41	+5.1%	+310	+59.4%	
売上原価	156	261	292	339	892	+47	+16.1%	+183	+117.1%	
売上総利益	365	490	499	492	1,482	-6	-1.3%	+127	+34.8%	
研究開発費	173	151	182	161	494	-21	-11.3%	-12	-6.7%	
その他販管費	401	568	594	652	1,814	+58	+9.8%	+250	+62.4%	
その他収益/費用	34	51	12	13	77	+1	+6.0%	-21	-61.3%	
営業利益	-175	-178	-264	-307	-749	-43	-	-133	-	
金融収益/費用	3	541	134	10	685	-123	-92.3%	+8	+289.6%	
その他	8	9	132	36	176	-96	-72.9%	+28	+371.3%	
税引前利益	-164	372	1	-261	112	-263	-	-97	-	
当期利益(親会社帰属)	-162	241	27	-200	68	-226	-	-37	-	

有価証券評価益 +109M、為替差損益 △99M

# 連結売上実績 - (取引別)

## 米国の治療サービス拠点獲得によるサービス売上の増大



# レンタル等売上の推移 (製品別)

## 医療用下肢タイプ (海外) と 単関節タイプ (国内) のレンタルが成長

(単位:百万円)

製品タイプ		FY2021 Q1-Q3	FY2022 Q1-Q3 (構成比)
医療機関向け (機能改善目的)	HAL下肢タイプ (医療用)	413	505 ※1 40%
	HAL下肢タイプ (福祉用等の非医療用)	141	131 10%
	HAL単関節タイプ	92	135 ※2 11%
介護自立支援	HAL腰タイプ	194	178 14%
作業支援	HAL腰タイプ	78	51 4%
移動ロボット (除菌清掃・搬送など)		39	37 3%
その他		100	210 17%
合計		1,057	1,248 100%

### ※1 HAL下肢タイプ (医療用)

主にAPAC及び欧州向けが増収に寄与

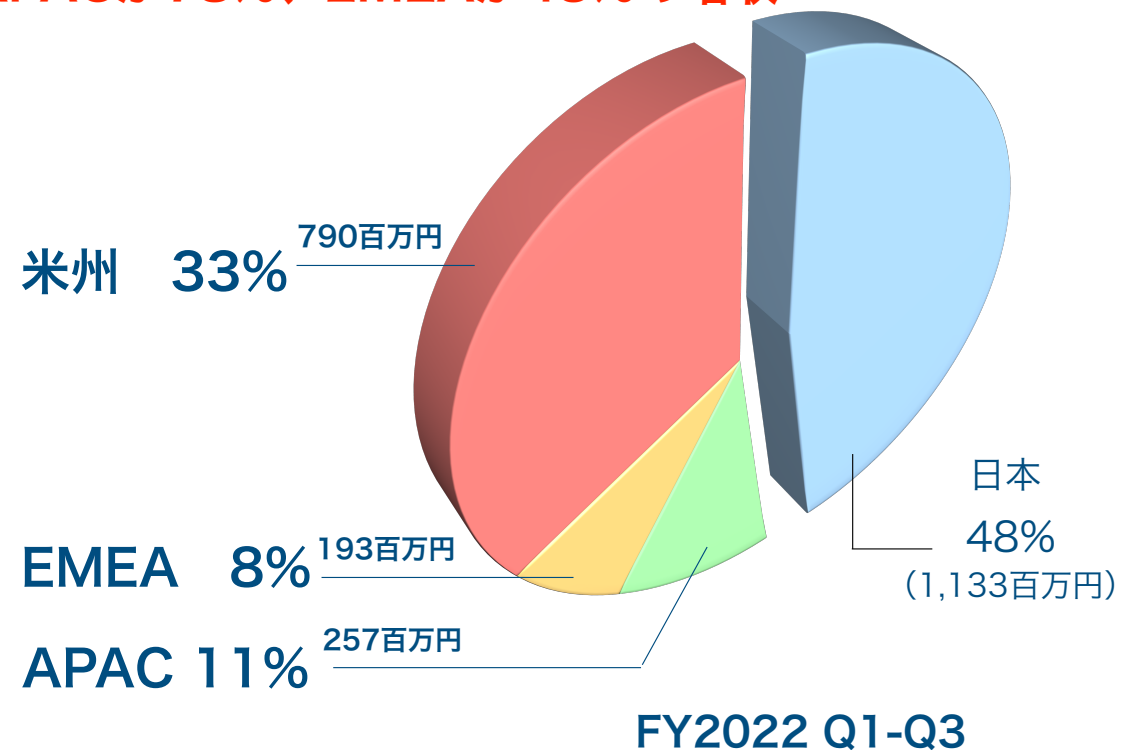
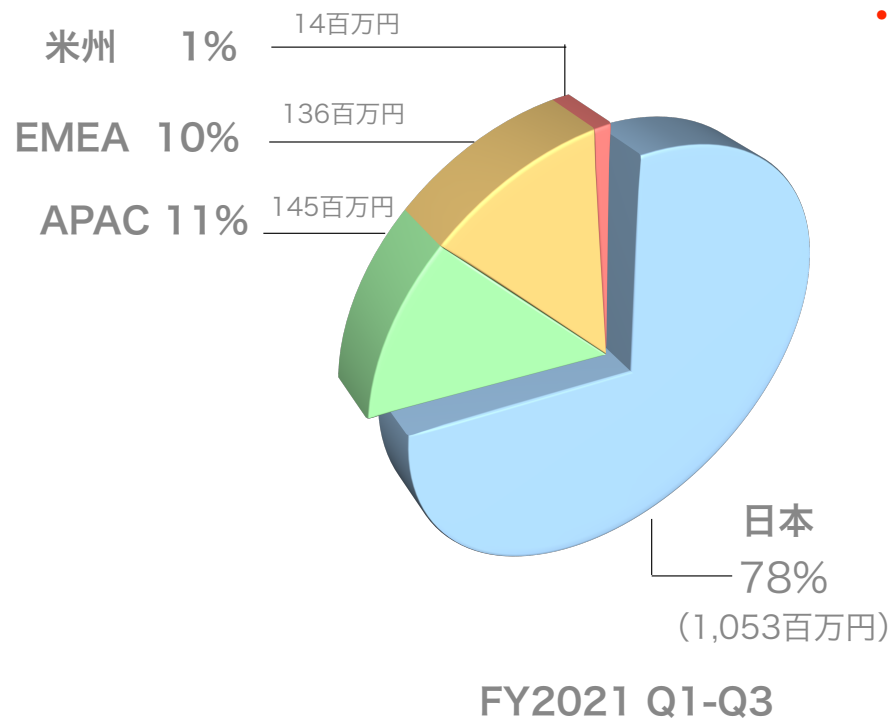
### ※2 HAL単関節タイプ

主に国内医療機関向けが増収に寄与

# 連結売上実績 (地域別)

**海外売上高が大幅増加 +946百万円 (海外比率が 22%から52%に)**

- ・ 米国の治療拠点獲得による大幅増収
- ・ APACが78%、EMEAが43%の増収



米州 : 北米及び中南米  
 EMEA : Europe, the Middle East and Africa (欧州、中東及びアフリカ)  
 APAC : Asia-Pacific (アジア太平洋) ※日本を除く

## (参考) 取引別・地域別売上 (マトリックス表)

### 米国のサービス及びEMEAとAPACのレンタルが大幅増収

(単位：百万円)

FY2022 Q1-Q3 (FY2021 - Q1-Q3)	レンタル等	製品販売	サービス	合計
日本	835 (824)	114 (76)	185 (154)	1,133 (1,053)
米州	23 (14)	17 (0)	750 (0)	790 (14)
EMEA	144 (77)	0 (9)	50 (50)	193 (136)
APAC	246 (143)	10 (1)	1 (0)	257 (145)
合計	1,248 (1,057)	140 (85)	987 (204)	2,374 (1,348)

# 開発パイプライン



2022年12月31日現在

対象疾患	製品開発	臨床試験 (探索的試験)	治験 (検証的試験)	医療機器 申請・審査	医療機器承認 (日本では保険適用)	上市 (市販後試験等)	保険適用	現状
<b>進行性神経筋難病</b> (ALS等8疾患) 							令和4年度改定(DPC出来高算定へ) <b>公的保険の申請審査中(独)</b> 公的保険適用に向けて検討中	
<b>進行性脊髄疾患</b> (HAM等2疾患) 							公的医療保険の申請準備中 医療機器の申請準備中(適応拡大) 医療機器の申請準備中(適応拡大)	
<b>脊髄損傷</b> 								治験の実施検討中 <b>公的医療保険用の試験準備中(ドイツ)</b> 公的保険適用に向けて検討中
<b>脳卒中</b> 								医療機器申請に向け当局と協議中 公的保険適用に向けて検討中 公的保険適用に向けて検討中
<b>脳性麻痺</b> 								医師主導治験を実施中
<b>多発性硬化症</b> 								パイロット試験を実施中
<b>パーキンソン病</b> 								パイロット試験を実施中

上記は、HAL製品（下肢タイプや腰タイプ）を包括した状況。  
 単関節タイプは日米において、対象疾患の限定なく医療機器の許認可を取得済。



# 医療機器承認の進捗状況（国別・疾患別）

## 米国、欧州、アジアで医療機器化が大きく進展

【医療用HAL下肢タイプ】

2022年12月31日現在

		脳卒中	脊髄損傷	神経筋疾患*
日本		(治験結果協議中)	(治験実施検討中) ※ 脊髄疾患で、ウィルス性 (HAM) と 遺伝性 (痙性対麻痺) は承認済み	承認
米国		承認	承認	承認
EMEA	欧州 (EU)	承認	承認	承認
	トルコ	承認	承認	承認
	サウジアラビア	承認	承認	承認
APAC (アジア 太平洋)	マレーシア	承認	承認	承認
	インドネシア	承認	承認	承認
	タイ	承認	承認	承認
	台湾	(申請中)	承認	(申請中)
	シンガポール	承認	承認	承認
	オーストラリア	承認	承認	承認

\*神経筋難病8疾患 (ALS、脊髄性筋萎縮症、球脊髄性筋萎縮症、シャルコーマリートゥース病、筋ジストロフィ、封入体筋炎、遠位型ミオパチー、先天性ミオパチー)

# HALのグローバル展開状況

## 新型コロナ以降も、米国・欧州・APACで HALの導入が進展



2022年12月31日時点

本書には、当社および当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当社が本書作成時点において入手した情報に基づきなされたものであり、当社が何らの検証を行っておらず、また内容を保証するものではない公開情報を含んでいます。当社はこれらの記述を更新する義務を負っておりません。

当社および当社グループに関連する見通し、計画、目標は、当社が合理的と考える前提のもとに記述がなされていますが、これらの将来に関する記述は、当社の将来の業績を保証するものではなく、これらの記述において表現または暗示されている当社の将来の結果、業績、成果、財政状態と著しく異なる実際の結果、業績、成果、財政状態をもたらす可能性のある、既知および未知のリスク、不確実性、その他あらゆる要素を含んでいます。